

	課題	解決のための手だて
国語	<p>【領域：言葉の特徴や使い方に関する事項】</p> <p>○漢字を正しく読み、書くことができる。</p> <p>【領域：読むこと】</p> <p>○話の内容の大体を捉え、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。</p> <p>【領域：書くこと】</p> <p>○経験したことから書くことを見つけ、自分の思いや考えが明確になるように、文章を書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習タイムを活用し、漢字を使って短文作りをさせたり、教科書の音読を通して新出漢字の読みを確かめたりして、習熟を図る。また、読みが分からない漢字はそのままにせず、辞書を引かせることで、自ら調べる習慣を身に付けられるようにする。 ・着目した場面の叙述をもととして、登場人物が何をしたのか、どのような表情・口調・様子であったのかを具体的にイメージができるように、問いかけ方を工夫する。 ・書こうとしている題材の中から、中心として書きたいことをひとつに絞らせる。また、「はじめ・中・終わり」のまとまりを意識させ、書くことができるようにする。 ・書いた文章を読み合い、互いの文章のよいところを見つける場を増やす。
社会	<p>【見方・考え方：位置や空間的な広がり】</p> <p>○身近な地域や目黒区の様子を大まかに理解すること。</p> <p>○資料から気付いたことや、見学して分かったことなどを工夫して表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の土地の使われ方に着目させ、自分たちの生活の中から追究したい課題を見付け、興味をもって学習に取り組めるようにする。 ・調べ学習や施設見学を効果的に行うために、見学の視点を予め明確にしておく。 ・地図や写真、見学して分かったことを、自分の言葉でノートや新聞にまとめる場面を設定する。 ・友達と交流する場を設定し、多面的な考え方を意識できるようにする。

算 数	<p>【領 域：数と計算】 ○かけ算を正しく計算すること。</p> <p>○場面を理解し、条件を満たす場合を考え、その理由を説明すること。</p> <p>【領 域：測定】 ○身近にあるものの長さ・かさ・重さを推測して、適切な単位を使うことができること。</p> <p>【領 域：図形】 ○正方形や直角三角形の特徴を理解し、他の図形から弁別できること。 ○立方体や直方体の辺と頂点の数を理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習タイムの時間を使い、学習用情報端末のドリルパークを活用して、繰り返し計算問題に取り組むようにする。 ・考えをノートに書くだけでなく、どう考えたのかを友達に伝えたり、友達が発表した内容を再度説明したりするなどの活動の場を設定する。 ・量感を養うために、実物を測定する活動の時間を確保する。 ・長さ、かさ、重さの単位の仕組みを捉えるために、表で整理して共通点を見いだす。 ・紙を折って直角を作るなど、具体物を使い、図形の特徴に気付くことができるようにする。 ・6枚の長方形や正方形を貼り合わせてはこの形を作ったり、12本のひごを用いて箱の形を作ったりするなどの活動を丁寧に行う。
理 科	<p>【領 域：生命・地球】 ○植物や昆虫などの成長の様子を理解すること。</p> <p>【領 域：物質・エネルギー】 ○観察や実験の結果から、自分の考えを表現することができること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図鑑や学習用情報端末などを活用し、視覚的に理解できるようにする。 ・身の回りの生物について、探したり育てたりする中で、その生物の様子や成長の過程や体のつくりに気が付けるようにする。 ・児童の実生活と関連付け、解決したいと思える問題を児童が発見し、主体的に学ぶことができる学習過程を計画する。 ・分かったことを自分の言葉で表し、友達と交流する場を設定する。